

平成29年度 下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,836,000円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		H29 下半期※	H29 上半期	H28 下半期※	H28 上半期	H27 下半期※
貸付農地利用区画数		155	153	183	179	195
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	68.7%	67.9%	76.3%	75.6%	87.0%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	45.3%	45.3%	56.3%	51.6%	54.7%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	39.3%	37.7%	55.7%	55.7%	54.1%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	80.0%	80.0%	86.7%	86.7%	87%
	収穫体験利用組数(組)	1,358	550	1,300	521	1,289
	収穫体験利用人数(人)	3,828	1,353	4,245	1,495	3,719

※は通年の実績となります

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHPIに掲載 ④随時除草作業実施 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥下半期(10月～3月): 76件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 下半期(10月～3月): 1件の依頼を受け実施
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③浄化槽について委託業者による点検を実施(年1回)、受水槽については年度内に履行できなかったため、早期に実施する。 ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付区画利用者155人を対象に、平成30年2月に実施。 ・アンケート質問項目： 「申込のきっかけ」、「経験年数」、「利用頻度」、「管理人の対応」、「利用区画の面積」、「堆肥無料配布」、「耕運機無料レンタル」、「辞退を考えている理由」、「意見・感想」
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・回収総数 61枚（回収率 39.4%） 「申込のきっかけ」 広報ぎふ44% 岐阜市咲楽0% JAぎふ広報誌 7% チラシ2% 岐阜市のHP27% JAぎふのHP0% 知人からの紹介13% その他7% 「経験年数」 1年未満2% 1年0% 2年2% 3年5% 4年5% 5年9% 6年7% 7年3% 8年9% 9年3% 10～19年52% 20年以上3% 「利用頻度」 ほぼ毎日0% 週に数回36% 1週間に1回39% 1か月に数回22% その他3% 「管理人の対応」 (回数)もつと指導を7% ちょうどよい89% 指導不要4% 大変不満0% (内容)大変満足8% 満足80% 不満10% 大変不満2% 「現在の利用面積」 30㎡66% 40㎡21% 50㎡13% 「利用面積の大きさ」 ちょうどよい75% やや広い6% やや狭い19% 「堆肥無料配布」 大変満足27% 満足57% 不満7% 大変不満4% その他5% 「耕運機無料レンタル」 大変満足41% 満足59% 不満0% 大変不満0% 「辞退を考える理由」 体調不良45% 使用料22% 土質33% 「意見・感想」 下記記載のとおり
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。 ・近時、農機具で使用がしづらいものが多い。全体的に古いので定期的に入れ替えてほしい。 →不調の農機に対して修理・更新を実施 ・空き区画が多い。使用料が高い。 →平成24年度に1度使用料を上げており、今後も下げる予定はない。JAぎふ機関紙において、施設の紹介や募集記事等を記載。JAぎふ支店のグリーンセンターやJAぎふ管理事務所、ホームセンター等にポスターを設置し、ふれあい農園の紹介用パンフレットを各所で配布する等、利用者拡大に努めた。 ・ヌートリアなどの動物がかぼちゃを食べてしまいます。何か対策をして頂きたい。 →市で貸し出している、はこわなを設置し有害獣の駆除を実施。今後も被害があれば実施していく。 ・季節の野菜の育て方について講習セミナー等を企画してほしい。 →農園に隣接しているJAぎふアグリパークで年2回開催している、夏野菜、秋野菜の講座（無料）案内チラシを農園に設置。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を越えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	C	C	C
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>秋の作物が天候不良で発育が悪く収穫体験の時期が遅れた。天候不良でも安定して作物が収穫できるように、工夫し技術を研究していく。 土質改善のため緑肥作物(ソルゴ)の栽培をこころみた。 事業計画書にある業務で業務遅延事案を起こしてしまった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>JAぎふ機関紙において、施設の紹介や募集記事等を記載。JAぎふ支店のグリーンセンターやJAぎふ管理事務所、ホームセンター等にポスターを設置し、ふれあい農園の紹介用パンフレットを各所で配布する等、利用者拡大に努めた。 若年層が多く利用する収穫体験の期間を、土曜日から土曜日の8日間から土曜日から日曜日の9日間に伸ばしたほか、期間中に都合の合わない利用者には個別対応することで、より多くの方に収穫体験をしていただくよう努めた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>新たな利用者の獲得に努めるために施設のPR方法を工夫していく。 土質の改善のため緑肥作物(ソルゴ・デントコーン)の栽培を引き続きこころみる。 業務について、履行状況を複数で確認できる体制を整える。</p>

●所管課の意見

<p>・平成25年以降、市内各地に市民農園が開設されたことによる貸付区画利用率減少には歯止めがかかっていないが、ふれあい農園の長所をアピールするパンフレットを各所で配布したり、ポスター・JAぎふ機関紙の活用等でPR活動を活発化させている事は評価したい。ただし、今後も利用者の高齢化により辞退者が増加すると考えられるため、新たな利用者獲得へ向けてさらなるPR活動を実施してほしい。 ・一部業務について遅延があったため、計画に沿って遂行できるよう業務管理を実施してほしい。 ・アンケート結果より、多くの利用者が係員の指導・農機の貸出等の施設利用に満足していることや、収穫体験の日程を土曜日から土曜日の8日間から土曜日から日曜日の9日間に伸ばす等、アンケートの意見に対して対応していることを評価したい。今後も引き続き丁寧な対応をお願いしたい。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・岐阜市健康ふれあい農園としての目標設定が可能かどうか検討されたい。 ・収穫体験が盛況なため、貸付区画の利用率向上に繋がられないか検討されたい。 ・一部業務遅延によるC評価があるため、業務管理や連携を密にとることで、円滑な運営に努められたい。</p>
--